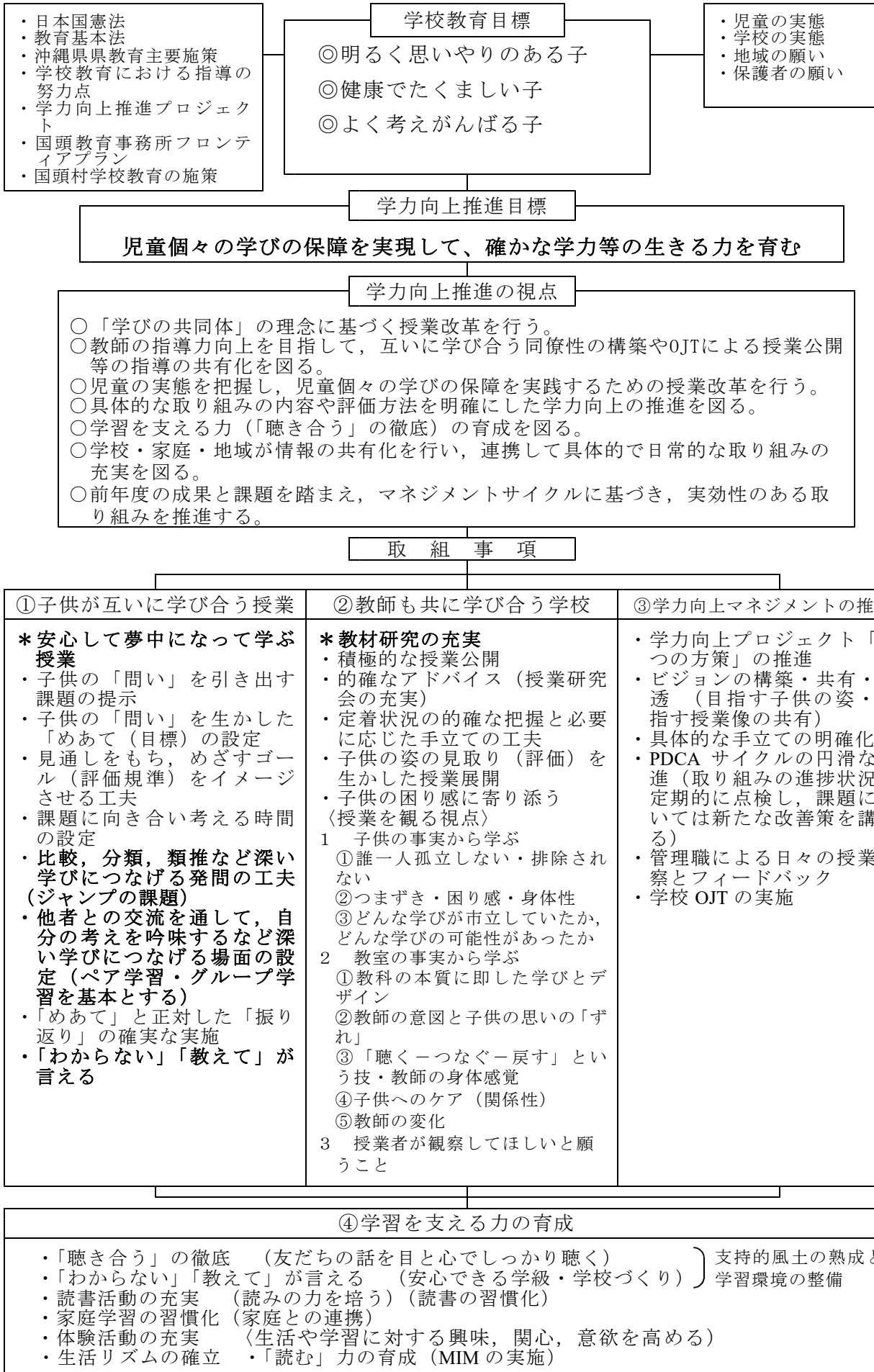


奥間小学校 学力向上推進全体計画



- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・沖縄県教育主要施策
- ・学校教育における指導の努力点
- ・学力向上推進プロジェクト
- ・国頭教育事務所フロンティアプラン
- ・国頭村学校教育の施策

- 学校教育目標
- ◎明るく思いやりのある子
 - ◎健康でたくましい子
 - ◎よく考えがんばる子

- ・児童の実態
- ・学校の実態
- ・地域の願い
- ・保護者の願い

学力向上推進目標

児童個々の学びの保障を実現して、確かな学力等の生きる力を育む

- 学力向上推進の視点
- 「学びの共同体」の理念に基づく授業改革を行う。
 - 教師の指導力向上を目指して、互いに学び合う同僚性の構築やOJTによる授業公開等の指導の共有化を図る。
 - 児童の実態を把握し、児童個々の学びの保障を実践するための授業改革を行う。
 - 具体的な取り組みの内容や評価方法を明確にした学力向上の推進を図る。
 - 学習を支える力（「聴き合う」の徹底）の育成を図る。
 - 学校・家庭・地域が情報の共有化を行い、連携して具体的で日常的な取り組みの充実を図る。
 - 前年度の成果と課題を踏まえ、マネジメントサイクルに基づき、実効性のある取り組みを推進する。

取組事項

①子供が互いに学び合う授業	②教師も共に学び合う学校	③学力向上マネジメントの推進
<p>*安心して夢中になって学ぶ授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供の「問い」を引き出す課題の提示 ・子供の「問い」を生かした「めあて（目標）の設定 ・見通しをもち、めざすゴール（評価規準）をイメージさせる工夫 ・課題に向き合い考える時間の設定 ・比較、分類、類推など深い学びにつなげる発問の工夫（ジャンプの課題） ・他者との交流を通して、自分の考えを吟味するなど深い学びにつなげる場面の設定（ペア学習・グループ学習を基本とする） ・「めあて」と正対した「振り返り」の確実な実施 ・「わからない」「教えて」が言える 	<p>*教材研究の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な授業公開 ・的確なアドバイス（授業研究会の充実） ・定着状況の的確な把握と必要に応じた手立ての工夫 ・子供の姿の見取り（評価）を生かした授業展開 ・子供の困り感に寄り添う〈授業を観る視点〉 <ol style="list-style-type: none"> 1 子供の事実から学ぶ <ol style="list-style-type: none"> ①誰一人孤立しない・排除されない ②つまずき・困り感・身体性 ③どんな学びが市立していたか、どんな学びの可能性があったか 2 教室の事実から学ぶ <ol style="list-style-type: none"> ①教科の本質に即した学びとデザイン ②教師の意図と子供の思いの「ずれ」 ③「聴くーつなぐー戻す」という技・教師の身体感覚 ④子供へのケア（関係性） ⑤教師の変化 3 授業者が観察してほしいと願うこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上プロジェクト「6つの方策」の推進 ・ビジョンの構築・共有・浸透（目指す子供の姿・目指す授業像の共有） ・具体的な手立ての明確化 ・PDCAサイクルの円滑な推進（取り組みの進捗状況を定期的に点検し、課題については新たな改善策を講じる） ・管理職による日々の授業観察とフィードバック ・学校OJTの実施

- ④学習を支える力の育成
- ・「聴き合う」の徹底（友だちの話を目と心でしっかり聴く）
 - ・「わからない」「教えて」が言える（安心できる学級・学校づくり）
 - ・読書活動の充実（読みの力を培う）（読書の習慣化）
 - ・家庭学習の習慣化（家庭との連携）
 - ・体験活動の充実（生活や学習に対する興味、関心、意欲を高める）
 - ・生活リズムの確立・「読む」力の育成（MIMの実施）
- ）支持的風土の熟成と学習環境の整備